

# 会員増強・拡大月間にあたって 「会員増強」はクラブ活動の成果

国際ロータリー第2660地区 ガバナー

泉 博朗

(大阪帝塚山RC)



「会員増強」はロータリーの目的ではありません。「会員増強」はクラブ活動の活性化のための手段です。そして、「会員増強」はクラブの活性度と連動しています。「会員増強」が図られれば、クラブの活動は活性化します。また、クラブが活性化されれば「会員増強」が図られます。

いままで、「会員増強」のために様々な活動をしてきました。年度が替わりました今、原点に立ち返り、あらためて考え直していきたいと思えます。その基本は「クラブの活性化」であります。

クラブ活動の結果として、賛同者が増えれば、入会数が増え、現会員が納得する活動があれば、退会はありません。要は、各クラブの現会員が納得している活動、私も参加したいと思えるような活動をすれば結果として入会者は増えます。決して、革新的なことが必要ではありません。花一輪、気の利いた一言、笑顔、感謝の言葉、寛容の精神、今すぐにでもできることがむしろ大切です。

しかしながら、ロータリーも組織であります。会員の減少は現実的に、クラブの運営にさまざまな形で支障をきたしています。地区としては、会員の減少に歯止めをかけ、会員の増強に転じることが役割の一つであることは間違いありません。

そして会員の多くは、企業人、組織人であり、ロータリーはまったく「利害」、「縛り」のない組織であります、むしろ、会費の出費や多くの奉仕活動の無償の活動をしています。そのような組織で現在のような会員数を維持できている事、ある意味不思議なことではありませんか。やはり、それほどに魅力のある組織であるわけです。

その魅力は一体何でしょうか。それはおそらくクラブの個性ではないでしょうか、決してロータリークラブは「組織」ではなく、正に「仲間」という意識の方が強いのではないのでしょうか。厳しい環境の中での「オアシス」のような存在が、現在のロータリーにも十分に残っているのではないのでしょうか。自信をもって、クラブの活動を推進していただきたいと思えます。

「親睦は石垣、奉仕は城」という言葉を地区研修・協議会でお伝えしました。「親睦」という燃料で「奉仕」の炎を燃やしていただきたいとお願いいたしました。「奉仕」の活動が「親睦」を深めることを多く経験してきました。皆様が自信を持ってクラブ活動をしていただく事が、結

果として「会員増強」を達成することではないでしょうか。そのために、地区として様々なクラブへの支援活動を行いたいと思っております。

## ●地区の役割

確かに、クラブとして、自信をもって活動をしていただきたいわけではありますが、地区としてはやはり、会員増強・拡大を支援する役割があります。

### 1. ロータリー情報の伝達

温故知新といいますが、ロータリーの歴史を知り、活動に役立てていただく、また、新しいニュースを提供する

### 2. 地区委員会によるロータリーらしい奉仕活動の紹介、支援

### 3. 補助金による奉仕活動の支援

### 4. 地区研修・委員会、各地区委員会によるセミナー

### 5. P E T S、地区研修・協議会などによる、クラブリーダー研修

### 6. ロータリーの広報活動（認知度の向上）

など、地区として、クラブの皆様の活性化、会員増強のために活動いたします。

## ●若手ロータリアンの研修セミナー・懇親会の実施

若手ロータリアンの皆様にクラブを超えたつながりを持っていただき、ロータリーの素晴らしさを理解していただくために開催いたします（新規会員の勧誘、退会の防止）

## ●ロータリーフェスティバルの実施

ゲイリー・ホァンR I 会長提唱のロータリーデーをロータリーの認知度の向上をめざし、「ロータリーフェスティバル」として実施いたします。

2015年5月5日 中之島公会堂およびその周辺

## ●地区増強目標「すべてのクラブで純増1名を達成」

この目標が達成されなければ、私は地区の運営に失敗したとの判断をいたすつもりであります。

私たち地区委員、地区事務局は、会員皆様に支援し、その結果として「会員増強」が図れることを目指しております。

「たのしいロータリー」(仲間と会えて楽しいな)

「待ち遠しいロータリー」(来週も出席しよう)

「わくわくするロータリー」(今日はロータリーがあるぞ)